

# 地震——いざというとき 落ち着いて行動できますか

## 揺れ自体よりも恐ろしい 火事や津波などの2次災害

自然災害の中でも、地震は特に被害が大きく、そのうえ津波や火事などの2次災害を引き起こす恐れがあります。

「グラツ」ときたとき、慌てず、落ち着いて行動できるようにするには、普段から地震に対する心構えをしておく必要があります。

さて、あなたはどのくらい備えができていますか。確認してみましょう。

突然襲ってくる地震——地震は昔から怖いことの代表としてよく挙げられています。

たしかに、地震の揺れは恐ろしいもの。しかし、揺れ自体よりも恐ろしいのが2次災害です。

というのも、地震の揺れが原因で、火事や津波、山崩れなどが起きるからです。

大正12年9月1日に起きた「関



東大地震」では、約14万人の尊い命が奪われましたが、このとき、ほとんどの人は2次災害である「火事」によって亡くなっているのです。

また、先月起きた「北海道南西沖地震」では、やはり2次災害である「津波・火事・山崩れ」によって、150人以上の方が亡くなり、いまだに行方がわからない人もいます。

こうした2次災害の被害を最小限にするためには、「備えあれば憂いなし」というように、ふだんからの備えが大切です。

さて、あなたは地震に対して、どんな備えをしていますか。チェックしてみましょう。

## 地震に対する大丈夫？ 備えは



ものが上から落ちてこないようにする。震度4程度の地震でも、家具などの上においてある物が落ちてくる場合があります。重い物や安定性のない物は高いところにおかないようにしましょう。

家具類が倒れないように固定する。

大きな地震になると、家具の上からものが落ちるばかりか、家具そのものが倒れてくる場合があります。壁や柱などに金具でしっかりと固定してください。

火事を起こさないために、消火器の準備をする。

火事は、初期消火が肝心です。消火器の準備や風呂の水張りを忘れないように。

非常用持ち出し袋を用意する。

地震によって、電気・ガス・水道などの生活に必要な「ライフライン」が止まってしまふことがあります。このようなときのために、懐中電灯やラジオ、救急医薬品、飲料水、食料など、必需品を入れた非常用持ち出し袋を用意しておきましょう。

「家族防災会議」を開くようにする。

地震が起きたときのために、だれが何をするかといった一人一人の役割を決めたり、家族がバラバラになったときの集場所を決めたりする防災会議を開き、みんなで話し合っておきましょう。

## 9月5日は防災訓練

### 家族みんなで参加しましょう

町防災訓練が、9月5日(日)に全地域を対象に行われます。いざというときに、適切な行動がとれるよう訓練にはぜひ参加してください。

くわしいことは、地区役員さんを通じてお知らせします。